

# 令和3年上半期

# 火災・救急・救助統計

(7月16日時点速報値)



問い合わせ 火災 予防課 ☎254-0356 FAX256-7755

救急 消防救急課 ☎254-1600 救助 消防救急課 ☎254-1601 いずれも FAX254-1607

## 火災 出火原因 1位は「たき火」

上半期に発生した火災は49件で、昨年同時期と比較すると9件減少し、建物火災も6件減少しました。出火原因の1位は「たき火(約22%)」、住宅火災の出火原因の1位は「ストーブ」でした。

上半期の住宅火災により3人の尊い命が失われています。初期消火や素早い避難のために住宅用火災警報器を必ず設置してください。また、定期的に点検し適切に維持管理しましょう。

### 火災概況

▲は減を示す

区分	令和3年上半期	令和2年上半期	比較	
火災件数合計(件)	49	58	▲9	
火災種別(件)	建物火災	21	27	▲6
	うち住宅火災	15	19	▲4
	林野火災	3	2	▲1
	車両火災	4	5	▲1
	その他の火災	21	24	▲3
死者(人)	3	2	▲1	
負傷者(人)	3	1	▲2	

### 出火原因

単位は件、▲は減を示す

出火原因	令和3年上半期		令和2年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	2	1	7	1	▲5	0
こんろ	0	0	4	3	▲4	▲3
焼却炉	1	0	0	0	1	0
ストーブ	4	4	4	4	0	0
排気管	1	0	2	0	▲1	0
電気装置	1	0	0	0	1	0
電気機器	1	1	0	0	1	1
電灯・電話等の配線	3	2	0	0	3	2
配線器具	3	2	2	2	1	0
火あそび	0	0	2	1	▲2	▲1
マッチ・ライター	1	1	2	0	▲1	1
たき火	11	1	7	0	4	1
溶接機・切断機	0	0	2	0	▲2	0
火入れ	6	0	3	0	3	0
放火	1	1	0	0	1	1
放火の疑い	8	0	11	6	▲3	▲6
その他	6	2	7	1	▲1	1
不明・調査中	0	0	5	1	▲5	▲1
合計	49	15	58	19	▲9	▲4

## 救急 事故種別 1位は「急病」

上半期に出動した救急件数は6,913件でした。事故種別では急病が4,476件と最も多く、全体の約65%を占め、次いで一般負傷が1,130件(約16%)、交通事故が413件(約6%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は28件減少し、搬送人員は123人減少しています。

昨年に引き続き出動件数は減少していますが、急病の件数は増えています。引き続き、感染症にかからないように新しい生活様式を継続しましょう。

### 救急概況

▲は減を示す

区分	令和3年上半期	令和2年上半期	比較	
出動件数(件)	6,913	6,941	▲28	
事故種別(件)	急病	4,476	4,428	48
	一般	1,130	1,261	▲131
	交通事故	413	419	▲6
	その他	894	833	61
搬送人員(人)	6,200	6,323	▲123	

## 救助 建物等による事故が増加傾向

上半期に出動した救助件数は87件でした。そのうち、交通事故が39件で全体の約45%を占め、次いで建物等による事故が28件、それら以外が20件でした。建物等による事故は近年増加傾向にあります。その多くは、建物内に居る高齢者に外から呼び掛けても応答がないといった内容です。

台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすい季節です。防災気象情報を有効に活用し、早めの行動を心掛け危険な場所には近寄らないように注意しましょう。

### 救助概況

▲は減を示す

区分	令和3年上半期	令和2年上半期	比較	
出動件数(件)	87	76	11	
救助種別(件)	交通事故	39	32	7
	水難事故	1	4	▲3
	機械による事故	1	0	1
	建物等による事故	28	26	2
	上記以外の事故	18	14	4